



参加
無料
(事前申込制)

第139回中国理解講座
現代中国語シリーズ②

数と中国語

10:00~11:30

立命館孔子学院講義室 (国際平和ミュージアム2階)

11/24
(土)

講師：石崎 博志 氏 (佛教大学文学部准教授)

講演概要：

世界で使われている言語にはそれぞれ共通性と差異があります。多くの共通性のうち、どの言語にも数字や数にまつわる表現があります。日本語は数字にまつわる表現において、圧倒的に中国語の影響を受けてきました。これは日本の固有の言葉(ひ、ふ、み、よ...)では、大きな数字を正確に数えることができず、中国語を借用して表現していることから分かります。また日本語で数を数える時に用いる助数詞も、ほとんどが漢語に由来しています。

今回の講演では数字を通して、中国語と日本語を比較し、双方の共通性と差異を考えます。具体的には、偶数と奇数、概数表現、時の表現における絶対表現と相対表現、数を使った慣用表現などを通して日本と中国の文化の違いについてお話しします。

受講には現代中国語の辞書を持参していただければ幸いです。

お申込み・お問合せ先：立命館孔子学院 (立命館大学 国際平和ミュージアム2階)

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学 アカデミア立命21内

TEL : 075-465-8426 FAX : 075-465-8429 Mail : koza@st.ritsumeikan.ac.jp http://www.ritsumeikan.ac.jp/confucius/

